

令和4年度（2022年度）市場小学校《学校経営方針》

〈小野南中学校区：小中一貫教育目標〉

『ふるさとを愛し、世界に学び、未来を切りひらく児童生徒の育成』

- 1 校訓 「かしこく やさしく たくましく」
学力向上 思いやり 自立
- 2 学校教育目標 「健康で明るく 強く 正しく 共に生きぬく子の育成」
 - ① たくましく、心豊かで活気あふれる集団作りを推進する。
 - ② 児童の持つ可能性を助成できる魅力ある教育環境を醸成する。
 - ③ 児童の発達段階に応じた支援・指導を連携できる教育活動を展開する。
 - ④ 学習力・生活力の基盤となるコミュニケーション力の育成を推進する。
 - ⑤ 9年間を見通した小中一貫教育の自立前期の教育活動を推進する。
 - ⑥ 保護者・地域との信頼関係・支援体制を確立し、個々の課題解消に向け、継続性のある取り組みを推進する。
 - ⑦ 児童・教師が共に学び合い、互いに磨き合える人間関係を構築する。
- 3 今年度の重点実施事項
 - 小中一貫教育の充実を目指し、校区の児童生徒・教職員の連続性のある教育活動。
 - ・グローバル社会に対応した英語教育・キャリア教育・プログラミング教育。
 - ・目標を抱き、自立する意欲の支援。計画性・主体性を育成する定期考査の実施。
 - ・第1期（1～4年生他律的）・第2期（5～7年生自立前期）に応じた教育活動。
 - 心身ともに健康で、安全・安心な学校生活の構築。
 - ・生活指導委員会を中核としたいじめ・不登校等への迅速な対応・情報共有。
 - ・保護者への支援・連携体制による信頼関係の構築。
 - ・児童・保護者の抱える課題への相談活動・支援活動の充実。
 - 確かな学力、互いに認め合う仲間づくり。
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の実践研究。
 - ・第2期（自立前期）に特化した教育活動の具体的な方策。
 - ・特別支援教育の視点を取り入れた命・心（情緒）を大切にする教育活動。
 - ・学習習慣の育成・学年に応じた基礎・基本の定着・言語活動の充実。
 - ・第2期（自立前期）における教科担任制による確かな学力の育成。
 - 発達段階に応じた個人指導・集団指導による自立心の育成支援。
 - ・発達段階に応じた適切な支援形態（個人・集団）による自立意識の変容。
 - ・学校行事・児童会活動等の体験を通じ、児童の自主性・自発性の育成。
 - コミュニケーション力向上の基盤となる読書習慣の定着。
 - ・読書に親しみ読書を通じて知識・思考・想像力を深める教養の基盤づくり。
 - ・読書活動により認識力（聞き分ける力・伝える力）・言語化能力の向上。
 - ・読書活動による疑似体験の増加、適切な判断力・耐性等の人格形成に効果。
 - 見識を高め、バランスと総合力の備わった教師の育成。
 - ・日々の教育実践の経験を生かし、成熟をめざした教師資質の育成。
 - ・学校は、出合いがあり、互いに磨き合える「成長の場」であることの再認識。
 - ・吸収力ある若手・規範となる中堅・見識豊かなベテラン教師が互いに関わり、磨き合うことにより、個業組織から協業組織へと変貌。
 - 情報端末機器の正しい活用による豊かな人間関係の育成。
 - ・GIGAスクール構想の推進、情報社会における学校・家庭の責任と役割。
 - ・学校と家庭の連携による情報端末機器へのルールづくり。
 - ・ネット依存傾向児童生徒の増加に対応する生活指導・広報活動。
 - 地域に学び、人に学び、社会をたくましく生きる力の育成。
 - ・地域学習や体験学習の充実・地域行事への参加を通して、ふるさとを愛する児童を育成。（水辺の楽校環境活動、地域の歴史等）
 - ・地域の抱える課題に注目し、地域貢献できる児童の育成。